

令和元年度(2019年度) 第1回 熊本市立図書館協議会 議事資料

議題1 平成30年度図書館事業統計について……………2

蔵書数、貸出冊数、蔵書回転度、利用者数、統計から見た課題

議題2 今後の取組について……………7

電子図書館事業

議題3 子ども読書活動推進計画について……………8

- 子どもの読書活動推進のための取組
- 基本方針1「家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進」
- 基本方針2「学校図書館と市立図書館等の機能充実」
- 基本方針3「市民協働による子どもの読書活動の推進」
- 基本方針4「子どもの読書活動の広報・啓発活動の推進」
- 第三次熊本市子ども読書推進計画における成果指標の状況①～③
- “ 参考指標の状況①～⑦

議題1 平成30年度図書館事業統計について

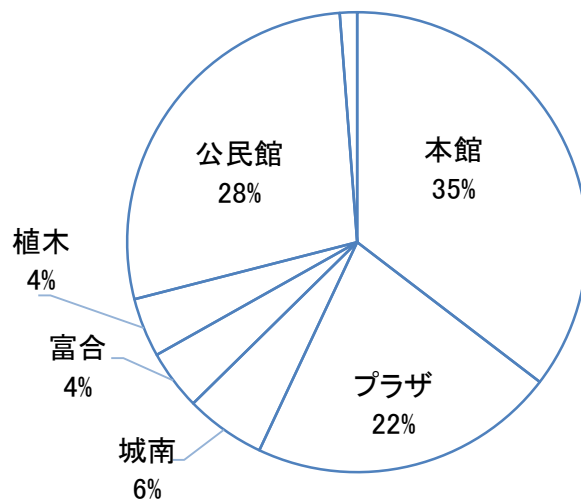
蔵書数

	蔵書数(冊)
① 本館	556,308
② プラザ	339,466
③ 城南	88,620
④ 富合	66,265
⑤ 植木	65,387
図書館計	1,116,046
① 清水	34,150
② 秋津	34,093
③ 龍田	34,021
④ 幸田	33,518
⑤ 南部	33,351
⑥ 託麻	33,337
⑦ 飽田	32,551
⑧ 東部	32,533
⑨ 花園	31,848
⑩ 西部	29,393
⑪ 天明	24,187
⑫ 河内	23,856
⑬ 北部	22,477
⑭ 中央	20,194
⑮ 五福	17,082
公民館計	436,591
男女セン	19,058
総合計	1,571,695

統計のポイント(蔵書数)

- ① 蔵書総数 1,571,695冊
前年度比較 + 18,864冊、+ 1.2%
- ② 蔵書数構成比
本館35%、公民館28%、プラザ22%
- ③ 市民1人当たりの蔵書数 2.15冊
指定都市比較(H29) 8位/20都市 平均1.95冊

蔵書数構成比



10年前との比較

(冊)

	H30	H20	増減
蔵書数	1,571,695	966,543	605,152 (1.63倍)
1人当たり	2.15	1.43	0.72 (1.50倍)

図書更新率

	蔵書数		増減内訳		更新率 B/A
	当年度A	増減	受入B	除籍	
H26	1,457,110	-1,021	84,703	-85,724	5.8%
H27	1,509,203	52,093	74,579	-22,486	4.9%
H28	1,529,234	20,031	60,341	-40,310	3.9%
H29	1,552,831	23,597	55,762	-32,165	3.6%
H30	1,571,695	18,864	52,152	-33,288	3.3%

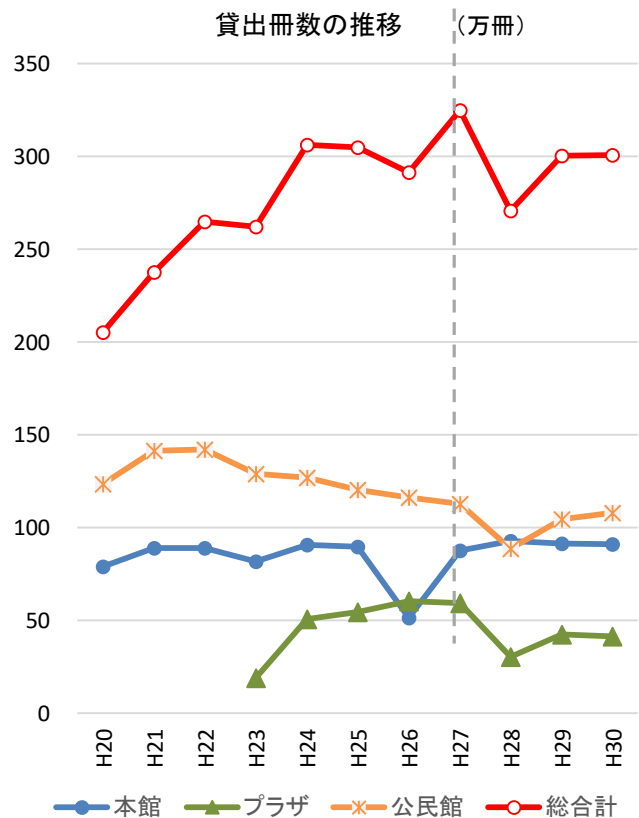
議題1 平成30年度図書館事業統計について

■ 貸出冊数

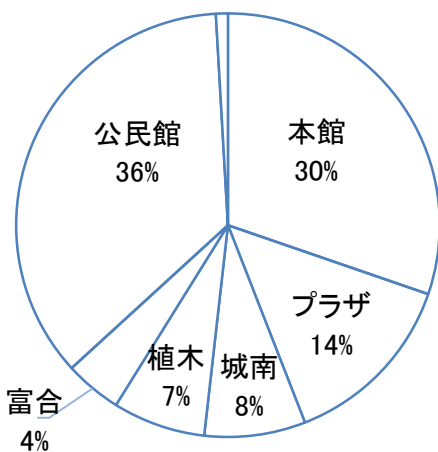
	貸出数 (冊)	増加率	
		対H29	対H27
① 本館	910,542	0.995	1.037
② プラザ	415,206	0.977	0.702
③ 城南	232,068	0.943	0.847
④ 植木	212,684	0.950	0.893
⑤ 富合	130,774	1.070	1.106
図書館計	1,901,274	0.984	0.905
① 東部	188,580	1.021	0.989
② 託麻	122,530	1.014	0.980
③ 龍田	108,843	1.126	1.014
④ 清水	106,446	0.962	0.970
⑤ 幸田	102,307	1.089	0.985
⑥ 西部	87,768	1.060	1.072
⑦ 秋津	86,558	1.028	0.952
⑧ 花園	75,866	0.977	0.906
⑨ 南部	66,003	1.067	1.075
⑩ 北部	41,356	0.986	1.022
⑪ 飽田	37,809	1.065	1.099
⑫ 五福	31,963	0.952	0.974
⑬ 天明	13,146	0.958	0.784
⑭ 河内	9,767	1.373	1.159
⑮ 中央	0	0.000	0.000
公民館計	1,078,942	1.032	0.957
男女	20,948	0.904	0.957
議会	6,536	1.283	3.544
総合計	3,007,700	1.001	0.925

統計のポイント(貸出冊数)

- ① 貸出総数 3,007,700冊
前年度比較 +2,797冊、+0.1%
(図書館△1.6% 公民館+3.2%)
- ② 地震前(H27)との比較 △243,384冊 △7.5%
(プラザ△29.8% 公民館△4.3% 本館+3.7%)
- ③ 貸出冊数構成比
公民館 36%、本館 30%、プラザ 14%
- ④ 市民1人当たりの貸出冊数 4.1冊
指定都市比較(H29) 14位/20都市、平均 4.5冊



貸出冊数構成比



10年前との比較

	H30	H20	増減
貸出冊数	3,007,700	2,051,213	956,487 (+46.6%)
図書館	1,901,274	817,480	1,083,794 (+132.6%)
公民館	1,078,942	1,233,733	△154,791 (△12.5%)
1人当たり	4.1	3.0	+1.1 (+36%)

議題1 平成30年度図書館事業統計について

■ 蔵書回転度

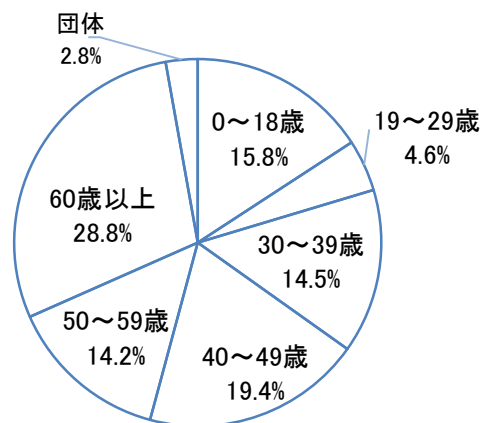
施設別		貸出冊数 A	蔵書数 B	A/B
①	植木	212,684	65,387	3.25
②	城南	232,068	88,620	2.62
③	富合	130,774	66,265	1.97
④	本館	910,542	556,308	1.64
⑤	プラザ	415,206	339,466	1.22
図書館計		1,901,274	1,116,046	1.70
①	東部	188,580	32,533	5.80
②	託麻	122,530	33,337	3.68
③	龍田	108,843	34,021	3.20
④	清水	106,446	34,150	3.12
⑤	幸田	102,307	33,518	3.05
⑥	西部	87,768	29,393	2.99
⑦	秋津	86,558	34,093	2.54
⑧	花園	75,866	31,848	2.38
⑨	南部	66,003	33,351	1.98
⑩	五福	31,963	17,082	1.87
⑪	北部	41,356	22,477	1.84
⑫	飽田	37,809	32,551	1.16
⑬	天明	13,146	24,187	0.54
⑭	河内	9,767	23,856	0.41
⑮	中央	0	20,194	0.00
公民館計		1,078,942	436,591	2.47
男女		20,948	19,058	1.10
議会		6,536	—	—
総合計		3,007,700	1,571,695	1.91

分類別	貸出冊数 A	蔵書数 B	A/B
総記	34,032	37,654	0.90
哲学	114,332	60,999	1.87
歴史	149,050	120,767	1.23
社会	197,371	187,798	1.05
自然	215,853	119,160	1.81
技術	328,847	125,581	2.62
産業	67,442	52,919	1.27
芸術	226,128	119,974	1.88
語学	40,505	26,583	1.52
文学	950,564	509,303	1.87
絵本等	683,576	210,957	3.24
計	3,007,700	1,571,695	1.91

議題1 平成30年度図書館事業統計について

■ 利用者数

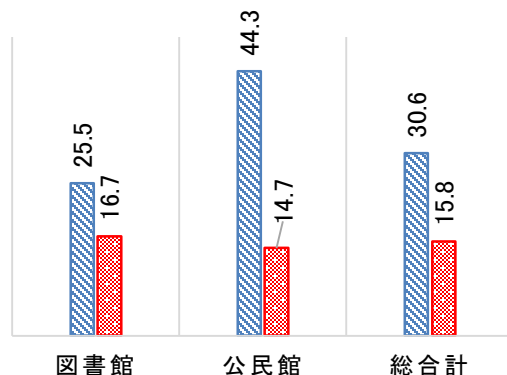
	利用者数 (人)	増加率 (対H29)
① 本館	246,190	1.007
② プラザ	121,994	1.006
③ 城南	52,759	0.955
④ 植木	45,131	0.943
⑤ 富合	28,641	1.086
図書館計	494,715	0.999
① 東部	56,033	1.052
② 託麻	30,733	1.000
③ 龍田	29,878	1.124
④ 清水	28,821	0.978
⑤ 幸田	27,406	1.118
⑥ 西部	23,432	1.075
⑦ 秋津	22,373	1.052
⑧ 花園	21,531	1.020
⑨ 南部	18,584	1.047
⑩ 北部	11,799	1.013
⑪ 飽田	10,674	1.084
⑫ 五福	11,266	0.971
⑬ 天明	4,049	0.919
⑭ 河内	2,815	1.327
⑮ 中央	0	
公民館計	299,394	1.046
男女	8,695	0.953
議会	3,414	1.271
総合計	806,218	1.016



利用者年齢構成(総数)

構成比率比較(%)

■ 児童書数/蔵書数 ■ 18歳以下利用者割合



統計のポイント(利用者数)

- ① 利用者数: 806,218人 前年度比較 +13,075人 +1.6% (図書館△0.1%、公民館+4.7%)
- ② 利用者年齢構成: 30歳代・40歳代・50歳代で全体の約半数(48.1%)
- ③ 公民館: 児童書の蔵書割合 44.3% 18歳以下の利用者割合 14.7%

利用者年齢別増減

	利用者数(人)		A-B	A/B
	H30 (A)	H26 (B)		
0~6歳	28,792	24,269	4,523	1.186
7~12歳	76,934	69,856	7,078	1.101
13~15歳	12,381	12,491	△ 110	0.991
16~18歳	9,315	7,718	1,597	1.207
19~29歳	36,751	43,406	△ 6,655	0.847
30~39歳	116,682	109,631	7,051	1.064
40~49歳	156,005	119,980	36,025	1.300
50~59歳	114,396	98,565	15,831	1.161
60歳以上	232,281	183,193	49,088	1.268
団体	22,681	6,321	16,360	3.588
計	806,218	675,430	130,788	1.194

- ① 利用者総数(H26→H30)
+130,788人 +19.4%
- ② 増加
40~49歳 +30.0%
60歳以上 +26.8%
- ③ 減少
19~29歳 △15.3%

議題1 平成30年度図書館事業統計について

統計から見た課題

蔵書数	新規に受入れる図書数が減少。(図書更新率の低下)
	更に除籍処分を進める必要がある。
貸出冊数	貸出冊数は地震前(H27)と比べて減少。△243,384冊(△7.5%) 特に、プラザ図書館の減少が大きい。△176,509冊(△29.8%)
	公民館の貸出はH21を頂点に低下。△341,333冊(△24.0%)
	市民1人当たりの貸出冊数は指定都市の平均以下。 14位/20都市 熊本市4.1冊(平均4.5冊)
蔵書回転度	東部公民館は、蔵書数が足りていない。東部公民館 5.80
	絵本や技術関係の図書が足りていない。
利用者数	利用者の半数は30歳～59歳。19歳～29歳の利用者数が減少。
	公民館では児童書の割合が高いが、子どもの利用が少ない。

参考：図書館の沿革(サービス関連事項)

H20年10月	男女共同参画センター情報資料室が図書管理システム参加 富合町と合併(10/6)による富合公民館図書室の開設 図書管理システム更新
H21年4月	貸出冊数上限を各館6冊までから全館合計10冊までに変更 携帯電話及び検索機(OPAC)からの貸出予約サービス開始
H22年2月	書庫増築完了(10万冊収納)
H22年3月	城南町及び植木町と合併(3/23) 城南公民館図書室及び植木図書館の開設 全公民館図書室(17室)にICタグ関係機器を配備
H23年10月	くまもと森都心プラザ図書館開設
H25年4月	本館の閉館時刻延長(土日) 午後5時まで→午後6時まで 中央区役所及び東区役所に返却ポスト設置
H25年10月	図書管理システムの更新を1年延期
H26年3月	城南図書館開設
H26年9月	本館改修工事のため休館(翌年2月末まで)
H26年10月	議会図書室にサービススポット設置 図書管理システム更新
H27年1月	インターネットからの貸出延長申込みサービス開始
H27年4月	とみあい図書館開設(公民館図書室からの移行)
H27年10月	本館の閉館時刻延長(平日) 午後6時まで→午後7時まで
H29年11月	電話による貸出予約サービス開始 雑誌(バックナンバー)貸出サービス開始

議題2 今後の取組について(新しい図書館サービス向上対策)

1 電子図書館事業

令和元年11月1日から実施

■ 電子書籍貸出サービス

事業概要	著作権が有効な図書資料をオンラインで提供する。著作権が消滅したものについても、文字拡大などの機能を加えて提供する。
利用資格	図書館カード登録済の市民 (連携中枢都市圏構想に基づく協定による登録者を除く。)
貸出規定	タイトル数: 1人3冊まで 期間: 2週間以内
蔵書計画	初年度は3,000タイトルを提供する。その後、3~4年で10,000タイトルまで拡大する予定。別途、サービス開始当初から著作権フリー作品を約3,500タイトル提供する。

(参考)

利 点	課 題
① 利便性 常時利用可、来館不要、重要資料の貸出可 ② 障がい者向けの機能 音声読上げ、文字拡大、文字反転等 ③ その他 外国語表示、3-D表示、書込み、ブックマーク	① コンテンツ不足(6万タイトル程度) ② 割高な書籍代 ③ 新刊の発売遅れ ④ ネット接続中に限り閲覧可能 (ストリーミング方式) ⑤ デバイスの用意

先進事例 (H30)		堺市	大阪市	札幌市	さいたま	浜松市	神戸市
	導入時期		H22	H23	H26	H27	H30
コンテンツ数		7,754	5,519	8,408	11,423	1,030	2,275

■ デジタル アーカイブ サービス

事業概要	熊本市の行政資料や所有する郷土資料をデジタル化し、電子図書館HPから提供する。容易に資料検索ができるよう、図書館蔵書と同様にオンライン蔵書目録に対応。
利用資格	誰でも利用可
提供資料	計画書、統計書、報告書、市政だより、報道発表資料、新熊本市史、その他(熊本市HPで公開しているもの)

2 その他の新規サービス

令和元年10月2日から実施

読書履歴記録簿(Web版)	利用者の希望により、借りた図書の履歴(タイトル、著者名、日付等)をWeb上に記録し保存するもの。
在架予約サービス	図書館のオンライン蔵書目録に読みたい本がある場合、貸出状況や受取場所に関係なく、予約できるサービス。
雑誌貸出予約サービス	平成29年11月から雑誌(バックナンバー)を貸出しているが、これを予約できるサービス。
公民館向け団体貸出	公民館図書室の蔵書を充実させるため、300冊、3ヶ月を限度として、本館の蔵書を貸出すもの。

議題3 子ども読書活動推進計画について

<子どもの読書活動推進のための取り組み>

基本方針	具体的方針	取組方針	取組名	
1 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進	(1) 家庭における子どもの読書活動の推進	ア 乳幼児からの読書活動の推進	①乳幼児向け良書を紹介した冊子の配布及び公共施設等への設置 ②小中学校向け良書を紹介した冊子等の作成・配布 ③乳幼児を対象としたおはなし会等の開催	
		イ 家族での読書活動の推進	④家庭や図書館等における読書活動の啓発	
	(2) 地域における子どもの読書活動の推進	○市立図書館における取り組み		
		ア 子ども向け行事の充実	⑤子ども向け行事の定期的な開催 ⑥中学・高校生向け行事の開催	
		イ 指定図書展示及びおすすめ本の紹介	⑦各種イベント等を通じた本の紹介 ⑧図書館ホームページ等での紹介	
		ウ 入院している子どもへの支援	⑨院内支援学級への絵本の配架 ⑩ボランティア等への団体貸出 ⑪おはなしボランティア等の派遣	
		○公民館図書室における取り組み		
		ア おはなし会の実施	⑫乳幼児向け、小学生向けおはなし会の実施	
		イ 指定図書展示	⑬読書感想文コンクール関係等の展示	
		ウ おすすめ本の紹介	⑭「公民館だより」「図書室だより」などへの掲載	
	(3) 学校等における子どもの読書活動の推進	ア 児童、生徒の読書活動の充実	⑮朝の読書活動等の実施 ⑯PTA、図書館ボランティアと連携した取り組み ⑰推薦図書の提示等による取り組み ⑱蔵書データの管理と授業支援	
		イ 幼稚園や保育所等における読	⑲幼稚園や保育所等における読書活動の充実	
		ウ 職員研修の充実	⑳新任司書業務補助員への研修等 ㉑図書主任会等の開催	
		エ 障がいのある子どもの読書活動の充実	㉒特別支援学級用図書の充実 ㉓各学校からのリクエストに応じた図書の貸出 ㉔本を身近に活用できる環境の整備	
		オ 長期休業中の学校図書館活用	㉕長期休業中の学校図書館の開放	
				㉖学校図書館図書標準達成への計画的な蔵書の購入等 ㉗「学校リクエスト便」による貸出 ㉘「物語定期便」による学校図書館への貸出 ㉙小中学生向けの良書のセット貸出
2 学校図書館と市立図書館等の機能充実	(1) 学校図書館の機能充実	ア 学校図書資料の充実	⑳ホームページによる情報共有 ㉑学校図書館へ図書の紹介ほか各種情報等の提供	
		イ 図書情報の共有化	㉒分類別資料の収集	
		ウ 快適な読書スペースの確保	㉓子どものための読書スペースを充実させる取組み ㉔ホームページや資料検索機の機能向上 ㉕電子書籍の導入	
	(2) 市立図書館等の機能充実	ア 資料の充実	㉖ボランティアとの協働による取組み	
		イ 子どものための読書スペースの	㉗各種団体等への貸出	
		ウ ICTを活用したサービスの提供	㉘おはなし会等で活用できる資料等の貸出	
3 市民協働による子どもの読書活動の推進	(1) 市民協働による推進	ア ボランティアとの協働	㉙各種広報等による情報提供	
		イ 地域、団体等との連携	㉚お薦め絵本ガイドブックによる情報提供 ㉛公民館図書室による情報提供 ㉜熊本市生涯学習情報システムによる情報提供	
4 子どもの読書活動の広報・啓発活動の推進	(1) 広報・啓発活動の推進	ア 各種関連情報の収集・提供	㉝「子ども読書の日」(4月23日)等での啓発 ㉞童話発表コンクール等の啓発事業の実施	
		イ 広報、啓発活動の推進	㉟職場体験受入等による取組み	
			㊱生涯学習関係機関連絡会議等の活用	

議題3 子ども読書活動推進計画について

基本方針1 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における子どもの読書活動の推進

保護者が子どもの成長にあわせて読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするためのきっかけとなるよう、子ども向け良書の紹介や家族での読書活動の推進に取り組む。

ア 乳幼児期からの読書活動の推進

<p>① 乳幼児向け良書を紹介した冊子の配布及び公共施設等への設置</p>	<p>乳幼児向けの良書を紹介した冊子「このほんよんで」を赤ちゃんのいる家庭へ届けるなど、絵本を通じて親子が触れ合う大切さを伝える。また、「このほんよんで」に掲載している本を以下の施設へ継続して配置するとともに、配置施設の拡充に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="549 528 1370 756"> <tr> <td>配置先</td> <td>保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど</td> </tr> <tr> <td>設置個所数</td> <td>76ヶ所(H30年度末)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>傷んだ本は、修理又は買換えている。</td> </tr> </table> <p>■課題 劣化や破損した本が増加しており、修理に時間を要している。</p>	配置先	保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど	設置個所数	76ヶ所(H30年度末)	その他	傷んだ本は、修理又は買換えている。									
配置先	保健子ども課、子育て支援センター、市立幼稚園・保育園、子ども文化会館、児童館、小児科病床を有する病院、子ども発達支援センターなど															
設置個所数	76ヶ所(H30年度末)															
その他	傷んだ本は、修理又は買換えている。															
<p>② 小中学生向け良書を紹介した冊子等の作成・配布</p>	<p>小学校低学年向けの良書を紹介した冊子「としょかんへおいでよ」の少額1年生への配布や、年齢に応じたおすすめ本のリーフレットを作成し、市内の全小中学生に配布した。</p> <table border="1" data-bbox="549 984 1370 1253"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>配布物</th> <th>掲載図書数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～2年生</td> <td>冊子</td> <td>100冊</td> </tr> <tr> <td>小学校3～4年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊</td> </tr> <tr> <td>小学校5～6年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊</td> </tr> <tr> <td>中学校1～3年生</td> <td>リーフレット</td> <td>30冊</td> </tr> </tbody> </table>	対象	配布物	掲載図書数	小学校1～2年生	冊子	100冊	小学校3～4年生	リーフレット	30冊	小学校5～6年生	リーフレット	30冊	中学校1～3年生	リーフレット	30冊
対象	配布物	掲載図書数														
小学校1～2年生	冊子	100冊														
小学校3～4年生	リーフレット	30冊														
小学校5～6年生	リーフレット	30冊														
中学校1～3年生	リーフレット	30冊														
<p>③ 乳幼児を対象としたおはなし会等の開催</p>	<p>ボランティアと協働し、乳幼児等を対象としたおはなし会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="549 1377 1370 1481"> <tr> <td>0歳児・プレママ・プレパパ向け</td> <td>毎月第1・第3金曜日開催</td> </tr> <tr> <td>1・2歳児向け</td> <td>毎月第2・第4金曜日開催</td> </tr> </table>	0歳児・プレママ・プレパパ向け	毎月第1・第3金曜日開催	1・2歳児向け	毎月第2・第4金曜日開催											
0歳児・プレママ・プレパパ向け	毎月第1・第3金曜日開催															
1・2歳児向け	毎月第2・第4金曜日開催															

イ 家庭での読書活動の推進

<p>④ 家庭や図書館等における読書活動の啓発</p>	<p>家族で図書館や地域文庫等に出かけることや、ともに読書することなど、家族と一緒に読書を楽しむ習慣をつくることを呼びかけ、家族での読書活動を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="549 1771 1370 1958"> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。</td> </tr> <tr> <td>市立図書館</td> <td>赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(4/21実施)。</td> </tr> </table>	生涯学習課	熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。	市立図書館	赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(4/21実施)。
生涯学習課	熊本市生涯学習情報システムに、子ども向けの本の貸出施設(図書館・公民館図書室)を掲載。				
市立図書館	赤ちゃんパパママのための絵本教室を開催(4/21実施)。				

議題3 子ども読書活動推進計画について

(2) 地域における子どもの読書活動の推進

地域における子どもの読書活動の推進の中核を担う市立図書館や公民館図書室において、子どもが本と出会い親しむことができ、気軽に相談できる場所となるような環境の整備や、中学生・高校生等を引き付けるような多様な行事を開催するなど読書活動の普及・啓発を行う。

○市立図書館における取組

ア 子ども向け行事の充実

⑤ 子ども向け行事の定期的開催

催事	対象者	実施日
おはなし会	0歳児・プレママ・プレパパ向け	第1・第3金曜日
	1・2歳児向け	第2・第4金曜日
	3歳児以上向け	第1・第3土曜日
	小学生向け	第2・第4土曜日
語りのおはなし会	小学生以上向け	第3土曜日
紙芝居	どなたでも	毎週日曜日
図書館秋まつりおはなし会	どなたでも	10/28,11/3
人形劇	小学校2年生以下と保護者	3/28
あなたもマジシャンになろうワークショップ	小学校4年生～高校生	3/23

⑥ 中学・高校生向け行事の開催

中学生・高校生等の関心を引くような講演会やビブリオバトル等の多様な行事を開催した。
(指導課)

司書業務補助員連絡会および図書館主任会で、図書館を使った調べ学習の講師より、調べ学習の際に参考となる関連図書を紹介するブックトークや読書活動を活性化させるビブリオバトルの方法について、実践例を交えて紹介した。

(市立図書館)

催事	対象者	実施日	参加人数(人)
中高生向けワークショップ	中高生	3/20	131
ビブリオバトル	小学生	5/6,7/22,11/3,3/9	81
	高校生	8/19	

■課題 小学生対象のビブリオバトルは回数を重ねたことにより、徐々に認知され、出場者が揃うようになってきたが、観覧者側の参加意識がまだ浅く、質問等なかなか声が上がりにくい場面がある。また、中高生対象となると、参加者が減少する。

イ 指定図書の展示及びおすすめ本の紹介

⑦	各種イベント等を通じた本の紹介	<p>読書感想文コンクール関係の指定図書、季節や各種イベント等に応じた本などを展示し、児童・生徒の利用を促した。</p> <table border="1" data-bbox="551 176 1352 393"> <thead> <tr> <th>行 事</th> <th>期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休みに役立つ本展</td> <td>(7/10～ 9/ 2)</td> </tr> <tr> <td>クリスマス展</td> <td>(11/20～12/28)</td> </tr> <tr> <td>年賀状展</td> <td>(11/27～12/28)</td> </tr> </tbody> </table>	行 事	期 間	夏休みに役立つ本展	(7/10～ 9/ 2)	クリスマス展	(11/20～12/28)	年賀状展	(11/27～12/28)
行 事	期 間									
夏休みに役立つ本展	(7/10～ 9/ 2)									
クリスマス展	(11/20～12/28)									
年賀状展	(11/27～12/28)									
⑧	図書館ホームページ等での紹介	<p>図書館のホームページや「図書館だより」に新刊本・おすすめ本を掲載し、児童・生徒の利用を促した。</p>								

ウ 入院している子どもへの支援

⑨	院内支援学級への絵本の配架	<p>(再掲)小児科病床を有する公的病院に対して、「このほんよんで」に掲載されている絵本を配架した。</p> <table border="1" data-bbox="551 675 1360 888"> <thead> <tr> <th rowspan="4">絵本配架の医療機関</th> <th>熊本中央病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本大学病院</td> </tr> <tr> <td>国立熊本病院</td> </tr> <tr> <td>向陽台病院</td> </tr> </tbody> </table>	絵本配架の医療機関	熊本中央病院	熊本大学病院	国立熊本病院	向陽台病院	
絵本配架の医療機関	熊本中央病院							
	熊本大学病院							
	国立熊本病院							
	向陽台病院							
⑩	ボランティア等への団体貸出	<p>病院で活動されるボランティア等への絵本・児童書の団体貸出を行った。</p> <table border="1" data-bbox="544 992 1355 1164"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>冊数(冊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本中央病院</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>熊本大学病院</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2ヶ月ごとに入れ替え)</p>	医療機関名	冊数(冊)	熊本中央病院	150	熊本大学病院	300
医療機関名	冊数(冊)							
熊本中央病院	150							
熊本大学病院	300							
⑪	おはなしボランティア等の派遣	<p>病院からの依頼により、おはなしボランティア等を病院へ派遣する。</p>						

○公民館図書室における取組

ア おはなし会の実施

⑫	乳幼児向け、小学生向けおはなし会の実施	<p>定期的に、乳幼児向け、小学生向けなどのおはなし会を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="544 1485 1355 1978"> <thead> <tr> <th rowspan="8">生涯 学習課</th> <th>実施時期</th> <th>実施公民館名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎月1回</td> <td>五福、東部、飽田、北部</td> </tr> <tr> <td>毎月2回</td> <td>西部、南部、龍田</td> </tr> <tr> <td>毎月3回</td> <td>託麻、花園</td> </tr> <tr> <td>毎月4回</td> <td>秋津、清水</td> </tr> <tr> <td>不定期</td> <td>天明/年8回、河内/年2回</td> </tr> <tr> <td>学校等からの要望に応じて実施</td> <td>五福、河内</td> </tr> <tr> <td>季節に応じたおはなし会やイベントを実施</td> <td>五福、清水</td> </tr> </tbody> </table>	生涯 学習課	実施時期	実施公民館名	毎月1回	五福、東部、飽田、北部	毎月2回	西部、南部、龍田	毎月3回	託麻、花園	毎月4回	秋津、清水	不定期	天明/年8回、河内/年2回	学校等からの要望に応じて実施	五福、河内	季節に応じたおはなし会やイベントを実施	五福、清水
生涯 学習課	実施時期	実施公民館名																	
	毎月1回	五福、東部、飽田、北部																	
	毎月2回	西部、南部、龍田																	
	毎月3回	託麻、花園																	
	毎月4回	秋津、清水																	
	不定期	天明/年8回、河内/年2回																	
	学校等からの要望に応じて実施	五福、河内																	
	季節に応じたおはなし会やイベントを実施	五福、清水																	

議題3 子ども読書活動推進計画について

イ 指定図書展示

⑬ 読書感想文コンクール関係等の展示

読書感想文コンクール関係の指定図書や自由研究に役立つ本などを展示し、夏休みにおける児童・生徒の利用を促した。また、読書感想文コンクールのポスターの掲示、チラシ配布等を行った。

ウ おすすめ本の紹介

⑭ 「公民館だより」「図書室だより」などへの掲載

「公民館だより」「図書室だより」などに新刊本・おすすめ本を掲載し、児童・生徒の利用を促した。

広報媒体名	公民館名
公民館だより まちづくりセンターだより	五福、東部、託麻、西部、 花園、南部、幸田、天明、 北部、清水 合計10館
図書室だより	五福、託麻、南部、飽 田、天明、龍田、清水 合計7館
地域広報誌	河内

議題3 子ども読書活動推進計画について

(3) 学校等における子どもの読書活動の推進

学校全体で読書活動の計画的な実施や、各教科等の授業における図書館の積極的な活用を進めるとともに、地域や家庭の協力を得ながら、子どもが学校でも家庭でも読書の時間を楽しみ、本にふれる機会充実するような取組。

ア 児童、生徒の読書活動の充実

⑮ 朝の読書活動等の実施

読書の日常化を目指し、朝の読書活動や学級文庫等、児童・生徒が本に触れる機会を増やす活動を行った。(学校数:小学校 92校、中学校 42校)
(指導課)

朝の読書活動 実施校	学校	うち全校一斉	学年単位
	小学校	85校(92.4%)	1校(1.1%)
	中学校	12校(28.6%)	28校(66.7%)

⑯ PTA、図書館ボランティアと連携した取組

学校職員のみならず、PTAと連携したり、学校支援ボランティアの参加を呼びかけたりしながら、家庭での読書時間の確保や読み聞かせ等の活動を広げ、児童、生徒の本に対する興味、関心を高める活動を行った。
(指導課)

PTAによる読書推進 活動の実施校	学校	実施校
	小学校	42校(45.7%)
	中学校	3校(7.2%)

(学務課)

図書館ボランティアに よる活動の実施校	学校	実施校
	小学校	86校(93.5%)
	中学校	13校(31.0%)

※活動内容としては「読み聞かせ、ブックトークの支援」の実施が最も多い。次に多いのは、「学校図書館の飾りつけ、図書の修繕等環境の整備に係る支援」である。

⑰ 推薦図書の提示等による取組

読書内容の質の向上のために、推薦図書の提示等、児童・生徒の選書の支援を行った。
(指導課)

推薦図書設定校	学校	実施校	設定予定
	小学校	58校(63.0%)	8校(8.7%)
	中学校	21校(50.0%)	3校(7.2%)

⑱ 蔵書データの管理と授業支援

市立図書館内の「学校図書館支援センター」による学校図書館の蔵書データベースや情報ネットワークの管理、図書物流システムの運営や図書を活用した授業支援等を行った。
授業に役立つ情報や推薦図書を紹介する「本の散歩」を月1回発行した。

イ 幼稚園や保育所等における読書活動の充実

⑲ 幼稚園や保育所等における読書活動の充実

子どもたちの読書への関心を高め、想像豊かに本を楽しむ素地を育む実践を進めた。
(保育幼稚園課)

- ・職員だけではなく、ボランティアの協力を得ながら「絵本の読み聞かせ」の充実を図った。
- ・絵本の貸し出しを実施し、家庭において絵本を通しての親子のふれあいの時間の確保を行った。
- ・絵本の読み聞かせから表現遊びを実施した。

議題3 子ども読書活動推進計画について

- ・教職員だけではなく保護者の協力を得ながら絵本の読み聞かせを実施した。
- ・絵本を貸し出し、家庭において絵本を通しての親子のふれあいの時間の確保を促した。

ウ 職員研修の充実

⑳ 新任司書業務補助員への研修等

司書が学校図書館を訪問し、選書や蔵書についての助言を行い、また新任の学校図書館司書業務補助員に対して、図書の管理に関するパソコンの操作及び実務研修を実施した。

研修対象者	人数	実施日	場所
新任司書業務補助員	16名	4/20	教育センター

㉑ 図書主任会等の開催

学校全体での図書館教育充実のために、教職員と学校図書館司書業務補助員の連携を図れるように、図書主任会、学校図書館司書業務補助員連絡会等を実施した。

(指導課)

研修名		実施日	備考
学校図書館主任会		5/2	
学校図書館司書業務補助員連絡会	第1回	5/1	
	第2回	2/18	

- ・学校図書館主任会
指導課からの指導・連絡や学校図書支援センターとしての取組に加え、平成30年度から開催した「調べマスター☆コンクール」への取り組み方や児童生徒への支援の在り方について指導した。

- ・学校図書館司書業務補助員連絡会
授業における活用実践の報告を行い、取組の方法を共有できるようにした。

エ 障がいのある子どもの読書活動の充実

㉒ 特別支援学級用図書の充実

予算や寄付金などを活用し図書の充実を図った。

㉓ 各学校からのリクエストに応じた図書の貸出

各学校からのリクエストを受けて図書を貸出した。

図書種類	貸出回数	貸出数(冊)
しかけ絵本 大型絵本、布絵本	150回	1,941

㉔ 本を身近に活用できる環境の整備

障がいのある子どもの身近に本があるようにするとともに、読書の時間を確保したり、読み聞かせ等の活動を実施したりするなど、読書への関心を高める取り組みを行った。

(総合支援課)

- ・特別支援学級と特別支援学校において、児童生徒の実態に応じた学校文庫や図書室を設置し、本を身近に活用できる環境を整備した。
- ・特別支援学級においては、学級担任や学校図書館司書業務補助員、PTAボランティアなどにより、朝自習や休み時間を利用し、読み聞かせを実施した。

議題3 子ども読書活動推進計画について

才 長期休業中の学校図書館の活用

⑫	長期休業中の学校図書館の開放	<ul style="list-style-type: none">・夏季休業中に3日程度、司書業務補助員の配置を行い、学校図書館の開放や環境整備を実施した。・夏季休業中の開放実施校 29年度は、小学校 55校(59.8%) 中学校 17校(40.5%)
---	----------------	--

議題3 子ども読書活動推進計画について

基本方針2 学校図書館と市立図書館等の機能充実

(1) 学校図書館の機能充実

学校図書館の資料の充実を図るとともに、学校図書館支援センターによる各種情報の提供や快適な読書スペースの確保等による、学校図書館の機能充実に取り組む。

ア 学校図書資料の充実															
②⑥	学校図書館図書標準達成への計画的な蔵書の購入等	(学務課) ・蔵書率等に応じて図書を購入した。 平成30年度実績額 小中学校合計 27,691,473円 購入冊数 22,174冊 ・蔵書率を達成している学校については、古い図書の廃棄と更新を図った。廃棄冊数 小中学校合計 31,628冊													
②⑦	「学校リクエスト便」による貸出	(学務課) 平成30年度実績 図書資料の物流冊数 133,457冊 (リクエスト便と物語定期便の合計)													
②⑧	「物語定期便」による学校図書館への貸出	■課題 学校からのリクエストに応じ、市立図書館や他校の資料を貸し出すリクエスト便において学校間の格差が大きい。													
②⑨	小中学生向けの良書のセット貸出	小学生・中学生の年齢に応じた良書セットを貸出した。 貸出は学期単位 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>実施校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1・2年生</td> <td>100冊セット</td> <td>1・2・3学期 各10校</td> </tr> <tr> <td>小学校3・4年生</td> <td rowspan="3">30冊セット</td> <td>1・2・3学期 各10校</td> </tr> <tr> <td>小学校5・6年生</td> <td>1・2・3学期 各10校</td> </tr> <tr> <td>中学校1～3年生</td> <td>1学期6校、2学期3校、3学期0校</td> </tr> </tbody> </table> ■課題 小学校では頻繁に希望する学校がある一方、全く希望しない学校がある。中学校では、全体的に貸出希望が少ない。	対象	内容	実施校数	小学校1・2年生	100冊セット	1・2・3学期 各10校	小学校3・4年生	30冊セット	1・2・3学期 各10校	小学校5・6年生	1・2・3学期 各10校	中学校1～3年生	1学期6校、2学期3校、3学期0校
対象	内容	実施校数													
小学校1・2年生	100冊セット	1・2・3学期 各10校													
小学校3・4年生	30冊セット	1・2・3学期 各10校													
小学校5・6年生		1・2・3学期 各10校													
中学校1～3年生		1学期6校、2学期3校、3学期0校													
イ 図書情報の共有化															
③⑩	ホームページによる情報共有	学校間で利用できるホームページで学校図書館運営に関する情報の共有を行った。 子ども読書活動推進ホームページで、児童・生徒、保護者に向けて各学校で作成された「図書館だより」を掲載し、他校の情報の共有化を図った。 ※「図書館だより」の掲載 30年度8校													
③⑪	学校図書館へ図書の紹介ほか各種情報等の提供	(学校図書館支援センター) 情報紙「本の散歩」を月1回発行し、学校(司書業務補助員)へ情報発信を行った。また「物語定期便」「リクエスト便」「お薦め本」などのパッケージ本の紹介や貸出などの利用方法の案内を行った。 ■課題 内容の理解が不十分であったり、見落としにより図書配送業務のトラブルにつながることもある。 (学務課) ・全ての学校図書館に司書業務補助員を配置し、図書の紹介、利用案内等の情報提供の充実を行った。													
ウ 快適な読書スペースの確保															
③⑫	配架、レイアウト等の助言	中途採用等司書業務補助員の学校を訪問し、システム操作、配架・レイアウト等に関する助言を行っている。													

議題3 子ども読書活動推進計画について

(2) 市立図書館等の機能充実

図書資料の充実を図るとともに、子どもたちのための読書スペースの充実等により市立図書館等の機能充実に取り組む。

ア 資料の充実	
③③	<p>分類別資料の収集</p> <p>I. 読書への動機づけになるような絵本、文学、伝記、雑誌の収集 II. 自然科学分野に興味や関心を抱かせる資料の収集 III. 中学生・高校生等向けの図書や雑誌の収集 ⇒新刊本を収集。特にオリンピックに関する本、キャリア教育(職業)に関する本を収集した。</p> <p>IV. 外国語の絵本や児童書の収集及び多様な外国語図書を収集した。 ⇒英語を中心に収集した。</p> <p>VI. 指導者向けの児童書や子どもの読書活動に関する研究書の収集 ⇒読書案内を収集した。</p> <p>VII. 熊本の歴史、風土に関わる地域の伝説、民話、伝承遊びなど子ども向けの郷土資料の発掘と収集 ⇒金栗四三関係、くまモンの伝記を収集した。</p> <p>■課題 IV. 障がいのある子どもを対象として、「布の絵本」、「録音図書(CD)」の収集。また、DVDは字幕入りの収集に努める。 ⇒予算の都合で収集が出来なかった。</p>
イ 子どものための読書スペースの充実	
③④	<p>子どものための読書スペースを充実させる取組</p> <p>I. 子どもたちにとって居心地のいい読書スペースの提供 児童閲覧席の清潔感を重視し、窓側の明るい場所に設置しており、居心地の良い空間へ環境を維持した。</p> <p>II. 子どもたちの興味や関心を引くような図書の展示や紹介 子どもの興味関心を引く図書の展示は、展示・イベントの年間計画を立て、季節に応じた展示を通年行った。他課や館内イベント、講座等とタイアップし、興味ある図書に関する展示とともに図書へ誘うしかけなど工夫し企画を行った。</p> <p>■課題 公民館図書室においては、図書館と比較すると、児童書の蔵書割合は高いが、子どもの利用者の割合は低い。</p> <p>III. 子ども専用カウンターで子どもからの読書相談、読み聞かせ相談、おはなし会用品の予約・貸出・返却対応等、また夏休みの自由研究等のレファレンス、関連図書の展示を行った。</p> <p>IV. 中高生の学びの場として、学習室を提供し学習しやすい環境づくりを行った。</p> <p>■課題 夏季休暇や定期試験中、受験シーズン中は利用が多く、学習室がすぐに満室になる。</p>

議題3 子ども読書活動推進計画について

ウ ICTを活用したサービスの提供		
③⑤	ホームページや資料検索機の機能向上	子どもたちが読みたい本を見つけやすいように、児童用検索機(OPAC)で検索した結果を出力した際に、わかりやすい文言に変更した。 Wi-fi環境の整備の実施(本館・分館):平成27年12月から供用を開始した。
③⑥	電子書籍の導入	令和元年度中の開始に向け予算要求、他都市の導入状況、効果・課題等の調査を実施した。

議題3 子ども読書活動推進計画について

基本方針3 市民協働による子どもの読書活動の推進

(1) 市民協働による推進

ボランティアの育成や活動体制の整備等を進めるとともに、地域での新たな活動機会等の提供に取り組み、市民協働による子どもの読書活動を推進する。

ア ボランティアとの協働

③7 ボランティアとの協働による取組

I 書架整理ボランティアと協働し、図書の配架及び修理を行った。
書架整理ボランティア登録人数…29名
活動実績…238回(H31.3月末現在)

II おはなしボランティア及び紙芝居ボランティアと協働し、年間を通しておはなし会等を開催した。

ボランティア登録者数…121名〔13団体〕
(H31.3月末 現在)年間活動回数…152回

主な取組	開催回数等	対象
おはなし会	月2回	0歳児・プレママ・プレパパ、1・2歳児、3歳児以上、小学生
語りのおはなし会	月1回	小学生以上
紙芝居	月4回	どなたでも
図書館秋まつり おはなし会	10/28 11/3	どなたでも

III. ボランティア養成講座を開催した。

主な取組	開催日時
読み聞かせ入門講座	5/24、31、6/7、14、21、28〔全6回〕
学校ボランティアのための読み聞かせ教室	7/5
紙芝居の演じ方講座	11/1、8、15〔全3回〕

IV. ボランティアの資質や能力の向上を目的として、おはなしボランティア及び紙芝居ボランティアについて、月に1回、勉強会を開催した。

V. おはなしボランティアが市内各所で活動する場合、活動内容の報告や広報資料の提供により情報共有を行った。

VI. おはなしボランティアの派遣依頼の情報を、各ボランティアグループに提供し、活動の活性化に取り組んだ。

議題3 子ども読書活動推進計画について

イ 地域、団体等との連携		
⑳	各種団体等への貸出	平成30年度は、各種団体・育成クラブ・病院など26箇所の団体が登録し、多くの絵本や児童書等毎月約12団体へ貸出を行った。
㉑	おはなし会等で活用できる資料等の貸出	各地域で活動するボランティア等に対し、おはなし会用品の貸出を行った。 ■課題 書架整理ボランティアの登録者数が伸び悩んでいる。またおはなしボランティア登録者の高齢化により登録者数が減少傾向にあり、ボランティア養成の必要がある。

議題3 子ども読書活動推進計画について

基本方針4 子どもの読書活動の広報・啓発活動の推進

(1) 広報・啓発活動の推進

子どもたちをはじめ、地域社会全体で読書活動への取り組みの機運が高まり、地域ぐるみで子どもの読書活動を推進するために、効果的な啓発・広報活動を展開する。

ア 各種関連情報の収集・提供	
④① 各種広報等による情報提供	(教育政策課) ・教育情報誌「ウイズ・ユー」において、市立図書館にて行われる催しの記事を掲載し、情報提供を行った。年1回発行 (市立図書館) 「図書館だより」「図書館ホームページ」「市政だより」での広報や、SNSを活用した行事・イベント等の情報提供を行った。
④② お薦め絵本ガイドブックによる情報提供	新生児誕生家庭への配布に併せてお薦め絵本ガイドブック「このほんよんで」を提供した。その際、おはなし会の案内や問い合わせ先を掲載した。
④③ 公民館図書室による情報提供	公民館だより、図書室だより、公民館ホームページ、チラシ、ポスター等により、おはなし会等の情報提供を行った。
④④ 熊本市生涯学習情報システムによる情報提供	熊本市生涯学習情報システムの施設紹介一覧に、図書館・図書室を有する施設等、子ども向け本の貸出施設の情報を掲載した。

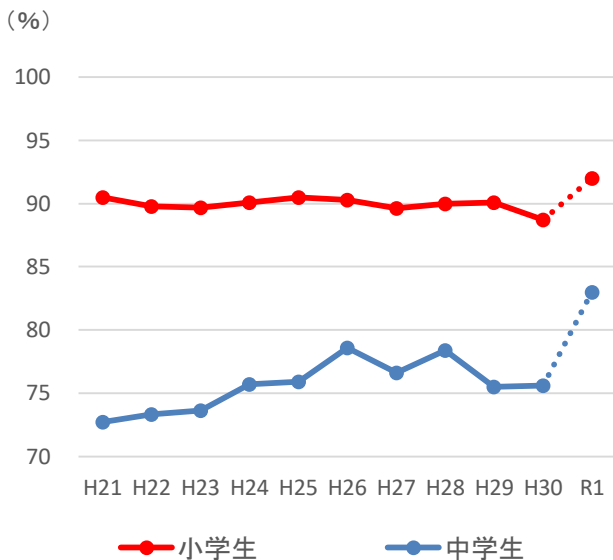
イ 広報、啓発活動の推進											
④⑤ 「子ども読書の日」(4月23日)等での啓発	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事</th> <th>開催期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際アンデルセン作家賞 角野栄子さん展</td> <td>3/28～5/20</td> </tr> <tr> <td>モーリス・センダックの世界展</td> <td>4/24～5/20</td> </tr> <tr> <td>赤ちゃんパパママのための絵本教室</td> <td>4/21</td> </tr> <tr> <td>親子で遊ぼう絵本の世界</td> <td>5/13</td> </tr> </tbody> </table>	行事	開催期間等	国際アンデルセン作家賞 角野栄子さん展	3/28～5/20	モーリス・センダックの世界展	4/24～5/20	赤ちゃんパパママのための絵本教室	4/21	親子で遊ぼう絵本の世界	5/13
行事	開催期間等										
国際アンデルセン作家賞 角野栄子さん展	3/28～5/20										
モーリス・センダックの世界展	4/24～5/20										
赤ちゃんパパママのための絵本教室	4/21										
親子で遊ぼう絵本の世界	5/13										
④⑥ 童話発表コンクール等の啓発事業の実施	童話コンクールを(8/5)実施した。										
④⑦ 職場体験受入等による取組	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>職場体験受入</td> <td>中学校8校16人、高等学校7校18人</td> </tr> <tr> <td>社会施設見学</td> <td>桜木小・大江小・白川小・壘学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>■課題 学校等が行う職場体験、社会施設見学などについて依頼が同時期に集中したことがあったため、日程調整に苦慮した。</p>	職場体験受入	中学校8校16人、高等学校7校18人	社会施設見学	桜木小・大江小・白川小・壘学校						
職場体験受入	中学校8校16人、高等学校7校18人										
社会施設見学	桜木小・大江小・白川小・壘学校										
④⑧ 生涯学習関係機関連絡会議等の活用	(生涯学習課) 公民館運営審議会等で、読書活動の広報・啓発を行った。										

議題3 子ども読書活動推進計画について

第三次熊本市子ども読書推進計画における成果指標の状況

① 本を読むのが好きと答えた子どもの割合

0730



<調査対象者>

小学生15,679人 中学生3,999人
全小中学校・全学年における任意の1学級

<調査時期>

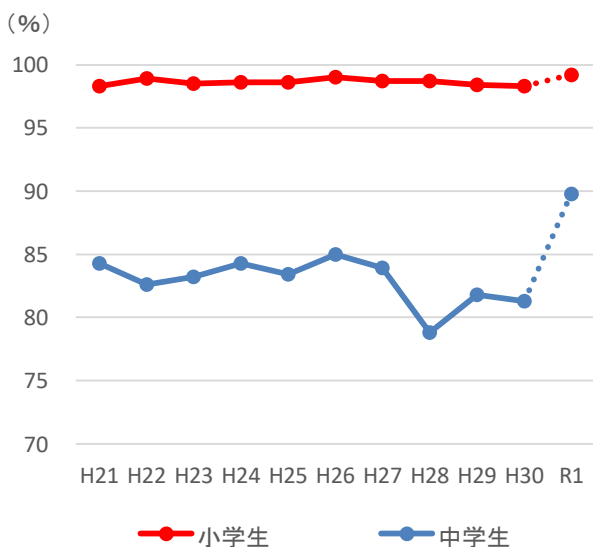
7月～9月

<出典>

子どもの読書活動に関する調査

	現状(H30)	目標(R1)
小学生	88.7%	92.0%
中学生	75.6%	83.0%

② 1か月間に1冊以上の本を読む子どもの割合



<調査対象者>

小学生15,679人 中学生3,999人
全小中学校・全学年における任意の1学級

<調査対象期間>

4月～8月

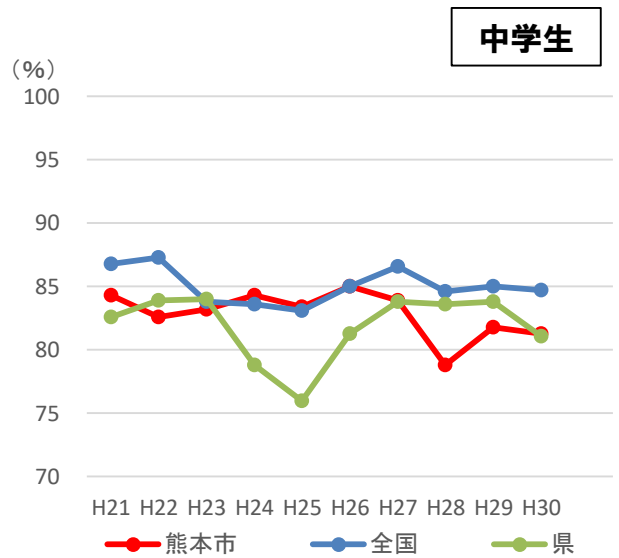
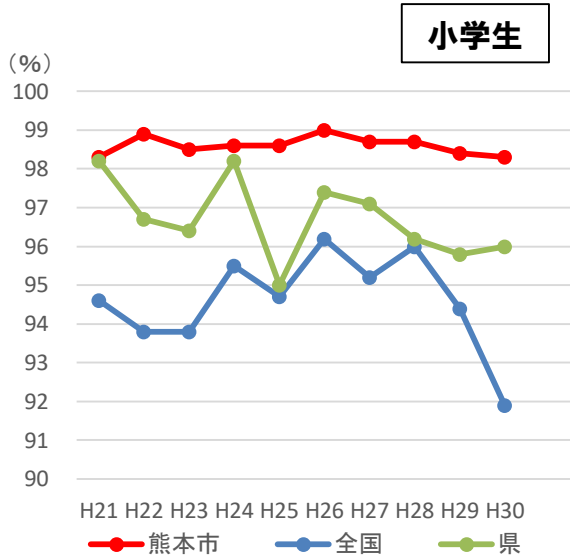
<出典>

子どもの読書活動に関する調査

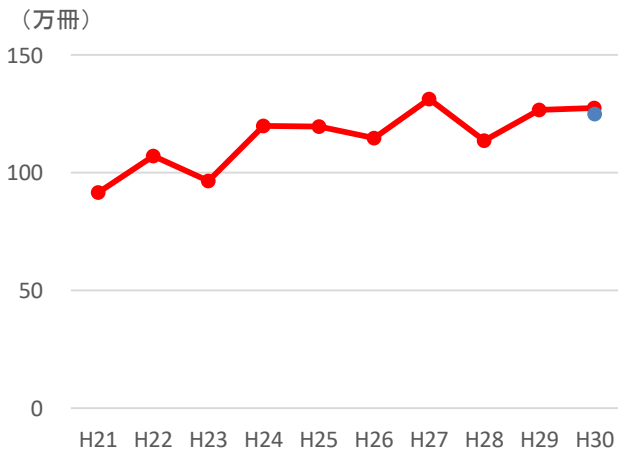
	現状(H30)	目標(R1)
小学生	98.3%	99.2%
中学生	81.3%	89.8%

議題3 子ども読書活動推進計画について

※②再掲 1か月間に1冊以上の本を読む子どもの割合 全国、県との比較



③ 児童書の貸出冊数



<調査対象施設>
 合計22ヶ所
 (図書館5館、公民館15館、その他2施設)

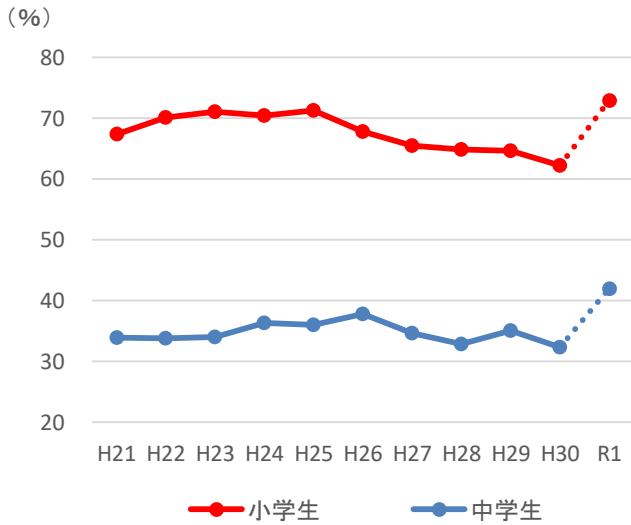
<出典>
 図書館事業統計

現状(H30)	目標(H30)
127万冊	達成(125万冊)

議題3 子ども読書活動推進計画について

参考指標

① 休みの日に読書をする子どもの割合



<調査対象者>

小学生15,679人 中学生3,999人
全小中学校・全学年における任意の1学級

<調査対象期間>

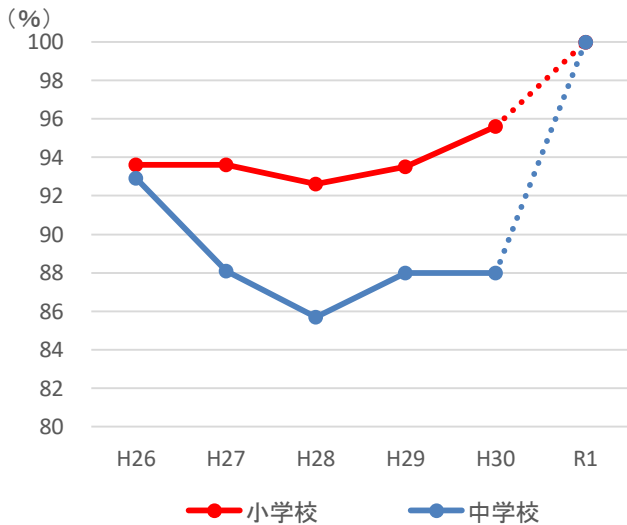
4月～8月

<出典>

子どもの読書活動に関する調査

	現状(H30)	目標(R1)
小学生	62.2%	73.0%
中学生	32.4%	42.0%

② 朝の読書活動等を1年を通じて実施している学校の割合



<調査対象者>

全小中学校

<調査結果>

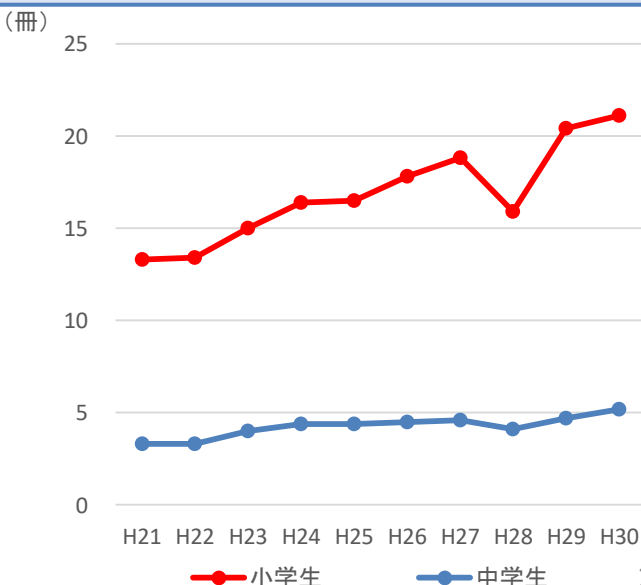
小学校88/92校 中学校37/42校

<出典>

学校図書館の現状に関する調査

	現状(H30)	目標(R1)
小学校	95.6%	100%
中学校	88.0%	100%

③ 学校図書館における児童・生徒1人当たりの貸出冊数



<調査対象者>

全小中学生
(小学生40,959人 中学生18,760人)

<調査内容>

3ヶ月間(4月～6月)の1人当たり貸出冊数

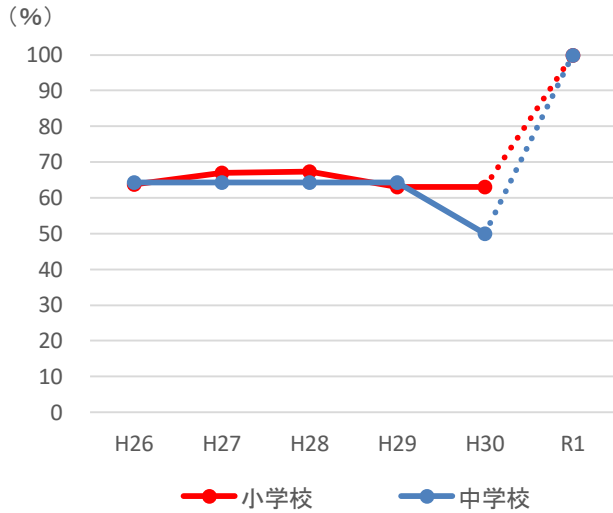
<出典>

学校図書館の現状に関する調査

	現状(H30)	目標(H30)
小学生	21.1冊	達成(16.5冊)
中学生	5.2冊	5.5冊

議題3 子ども読書活動推進計画について

④ 推薦図書を選んでいる学校の割合



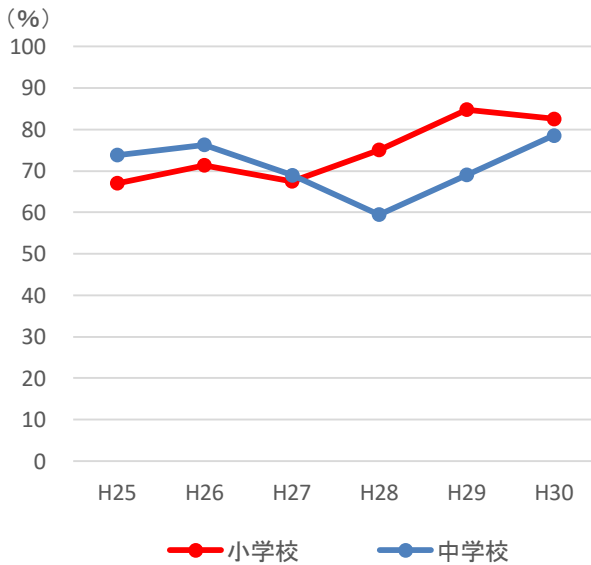
<調査対象者>
全小中学校

<調査結果>
小学校58/92校 中学校21/42校

<出典>
学校図書館の現状に関する調査

	現状(H30)	目標(R1)
小学校	63.0%	100%
中学校	50.0%	100%

⑤ 学校図書館図書標準の達成学校割合



<調査対象者>
全小中学校

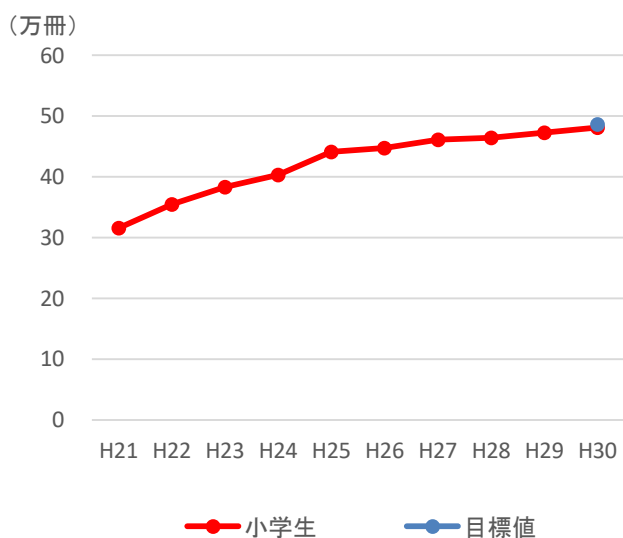
<調査結果>
小学校76/92校 中学校33/42校
市全体 蔵書146/標準140万冊 104.5%

<出典>
学務課による調査

	現状(H30)	目標(H30)
小学校	82.6%	100%
中学校	78.6%	100%

議題3 子ども読書活動推進計画について

⑥ 児童書蔵書冊数

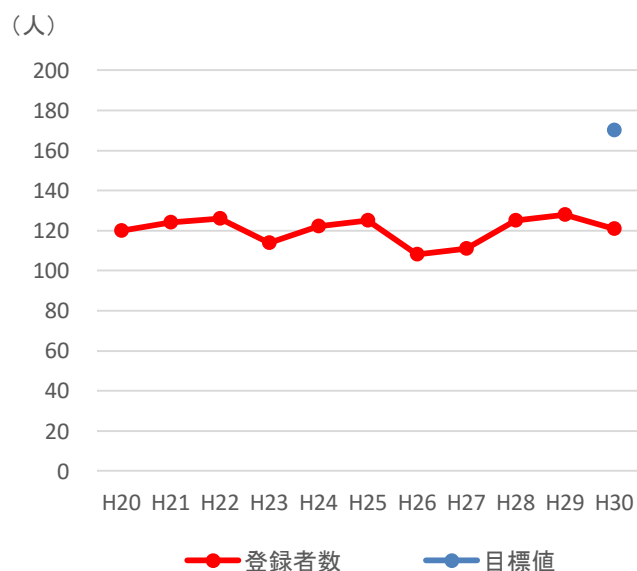


<調査対象施設>
合計22ヶ所
(図書館5館、公民館15館、その他2施設)

<出典>
図書館事業統計

現状(H30)	目標(H30)
48.1万冊	48.6万冊

⑦ 市立図書館のおはなしボランティア登録者数



<調査対象施設>
市立図書館(本館)

<出典>
市立図書館による調査

現状(H30)	目標(H30)
121人	170人